



一人ひとりの市民が健康で生き生きと暮らせるまちづくり ● 学校教育



遊具で遊ぶ子ども達

卒業や卒園、保健衛生などに関わる仕事が行われています。また、通学路を含めた安全な学校づくりにも、さまざまな面から取り組んでいます。みなさんの健康づくりも大切な仕事です。

Q 美馬市の学校教育の特徴とはどういふものですか？

A 美馬市では毎年、「美馬市学校教育基本方針」というのを定めています。平成18年度の基本方針を見ると、学校教育の目標は「人権を尊重し、創造性豊かで公共の精神に満ちたたくましい人間、平和を愛し国際理解、国際協調の精神を持つ郷土愛豊かな人間を育成する」とあります。絶対に人をいじめない、思いやりがあつて、平和とふるさとを愛するたくましい人間を育てたいということですね。この目標を基に6つの基本方針、10の重点施策が定められました。

重点施策の例としては、総合的な学習の推進と特色ある開かれた学校づくりの推進というのがあり、自然体験、社会体験、奉仕体験活動などを通して、問題を解決する能力を育てようとしています。

また、道徳教育や心の教育に力を入れています。道徳教育も学校教育の重要な柱として、コンピュータを活用した学習指導や市内各学校の間で情報交換や発信

ができるように進めています。また、二期制に向けての検討委員会や実施校での研究・検討を進めています。

〔特派員コメント〕

毎年、真剣に話し合い、検討を重ねて、わたしたち学校の事業や教育方針が決められていることを知りました。美馬市や地域の人々が、わたしたち子ども一人ひとりを大切に思ってくれているんだと感じました。

学校では、さまざまな体験学習があるけれど、その二つひとつの勉強に意味があるんですね。

みんなに支えてもらおう学校生活。大切に過ごしたいと思いました。

Column (コラム)

プラスワンスクール推進事業



学校と地域が一体となって、学校独自の特色や個性を十分に引き出した「魅力ある学校づくり」と、「美馬市に誇りを持ち、次代の郷土を担う子どもの育成」を目指して、平成18年度から平成20年度を目標に、「プラスワンスクール推進事業」が行われ、各学校で、地域の人々や外国の人々との交流により、ユニークな事業が展開されています。



▲臨川中学校校区防災マップ



部活動風景

Q 学校に関係する仕事という点、どんなことがあるのですか？

A 平成18年現在、美馬市には7つの中学校、20の小学校、また17の幼稚園があります。その学校や幼稚園に関する仕事は、美馬市教育委員会の中の教育総務課と学校教育課が行っています。

ここで、学校施設や教材・教具の整備をどうするか、みなさんの入学や入園、

わたしたちの学校の仕事をしているのは、美馬市教育委員会。わたしたちの大好きな学校は、どんな事業に支えられ、これからどう変わっていくのでしょうか。教育委員会を訪ねて、お話を伺いました。